



自学・敬愛・誠実

三原の嶺より

◆学校教育目標◆

- ・自ら進んで学び
- ・自然や人を愛し
- ・たくましく生きる生徒

令和4年11月22日(令和4年度 第7号) 発行責任者 大島町立第一中学校長

生徒の道徳性が伸び、登校するのが楽しく、安全な学校
確かな力のつく学校、地域に学び、地域とともに歩む学校

無理はしなくていい?嫌なことはしなくていい?

副校長

先日、5歳の双子の娘たちと三原山登山に行ってきました。皆さんもご存知のように三原山は駐車場から山頂まで道も整備され、頂上付近の三原神社まで大人の足で30～40分程度で気軽に行けます。しかし、5歳の子供にはきついようで、登る途中「疲れた～」「もう無理～」など弱音を吐いたり座り込んだりしましたが、おやつを食べたり休憩したり、励ましたりしながらなんとか三原神社まで到達することができました。登る時はさんざん弱音を吐いていましたが、下山時には「また来たい」「次はお鉢巡りをしたい」などと言っていたのはとても印象的でした。

登山途中できつくなり「登り続けるか」「途中で止めて引き返すか」の2つの選択に迫られた時は比較的その人の性格が出るように思います。登山に楽しみがあると分かっているとはいえ、やはり体力的にはきついものです。それでも、それ以上の楽しみが記憶に強く残っていると、また行きたいと思えるようになるのだと思います。そうすると「楽しい」に付いてくる「きつい」「辛い」「嫌だ」も受け入れられるのかもしれない。

先日行われた校内マラソン大会でも同じようなことが見られました。1年生は初めての中学校でのマラソン大会ということもあり、スタート前は不安や後ろ向きな気持ちを抱いている生徒も多かったように思います。しかし、足を負傷して止むを得ず途中棄権した生徒を除いた全ての生徒がゴールまで走り切りました。チャレンジスタートで参加した生徒も見事完走できました。走り終わった後の生徒たちは一様にホッとしたような安堵感や最後まで走り切った満足感、達成感のある表情をしていました。

これまで2度校内マラソン大会を経験している3年生は後ろ向きな気持ちを抱いている生徒は比較的少なかったように思います。1年時はチャレンジスタートだった生徒は当然のように皆と同じスタートラインに立ち、当然のように最後まで走り切りました。「もう少し、早く走れたのに」と悔しがる姿は2年前では想像できませんでした。2年前はかなり辛そうな表情でゴールしていた生徒も最後まで力強く走り切り、ゴールした後は他の生徒を応援する余裕まで見られました。3年生はクラス全体で「最後まで走り切る。まだ走っている生徒には応援して励ます」という気持ちを共有している一体感を感じました。2度のマラソン大会を通して自身の成長を実感し「きつい」「辛い」「嫌だ」を受け入れ、立派に成長したのだと感じました。

登山やマラソンなど、長時間継続して行う運動は「きつい」「辛い」「嫌だ」など後ろ向きな気持ちになってしまうのは自然なことだと思います。「無理はしなくていい」「嫌なことはしなくていい」という耳障りのよい言葉が世に溢れていますが、場合によっては成長の機会を逃すことにもつながります。学習指導要領で示されている学校教育の目標は子供の「生きる力」を育むことです。人生100年時代と言われる現代において義務教育期間の9年間は人生を生き抜くための土台作りの時期と言えます。子供のよりよい成長を望むのは誰しも同じですが、その方法や程度については様々な考え方があります。子供の自己肯定感「認め、褒める」指導で伸ばすことはできますが、子供が自信を身に付けるにはある程度負荷のかかる難しい課題や取組を自らの力で乗り切ることが何よりの方法だと思います。

大きな成長に近道は無いように思います。子供が一時的に後ろ向きな気持ちになってしまう時こそ子供の成長を見据え、励まし支えながら取り組ませ、よりよい成長につなげていくことが子供を育てる大人の責任ではないでしょうか。

教科の紹介（音楽）

11月14日から一中祭特別時程が始まり、体育館での音楽の授業に加えて、放課後の自主練習が始まりました。自主練習では、合唱実行委員とパートリーダーが中心となって練習に取り組んでいます。最初は曲を歌い通すだけで精一杯でしたが、練習を重ねていくうちに、歌い方の工夫などを考える時間が徐々に増えてきました。

第1回の中間発表では、他の学年の前で緊張感がある中でも歌詞を覚えて歌うことに挑戦した生徒が多かったです。そして、第2回の学年発表では、前回よりも自信をもって歌うことができていました。また、全校合唱「大島よ、いつまでも」については、それぞれの学年が自主的に練習を積み重ねることで完成度が上がってきました。一中祭本番での演奏を期待しています。各学年の様子についてお伝えします。

【1年生】

歌う曲は「地球星歌～笑顔のために～」です。入退場や礼の仕方、紹介文を読むタイミング、そして体育館の舞台上での演奏など、最初は初めてのことでだらけでとまどいもありました。ですが、一つ一つ丁寧に確認することで落ち着きながら練習に取り組むことができてきました。一中祭当日は、1年生らしい思い切りの良い歌声を一中全体に響かせてください。

【2年生】

歌う曲は「HEIWA の鐘」です。皆で一緒に歌うところ、かけ合いがあるところ、合唱になるところ、そしてピアノ伴奏の勢いなど、合唱、指揮者、伴奏者、クラス全体で演奏するように意識しながら練習に取り組んできました。2年生らしさを存分に発揮することでこの曲が持つ力強さを伝えられると思います。

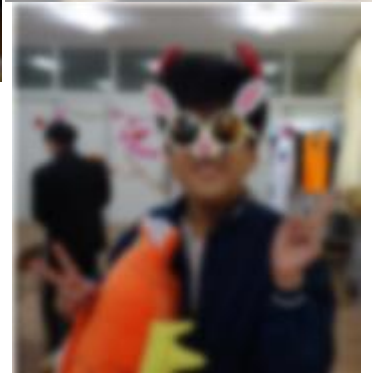
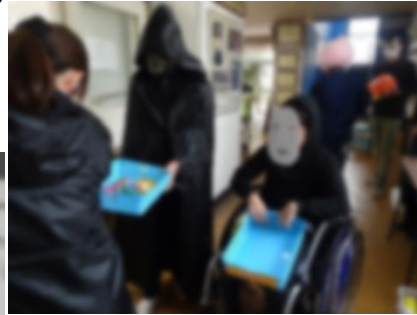
【3年生】

歌う曲は「虹」です。今までの中学校生活で積み重ねた歌唱技術もあり、この難曲の音取りを終えるのは早かったのですが、一番の課題は「この曲をどう表現するか」についてでした。そのため、音楽や自主練習の時間以外でも道徳の時間を使って歌詞に込められた想いを深く考える機会を増やすことにより、表現するイメージが少しずつ湧いてきたようです。当日は、3年生がこの曲をどのように表現するか非常に楽しみです。



くろしお学級のコーナー

ハロウィンパーティ！！

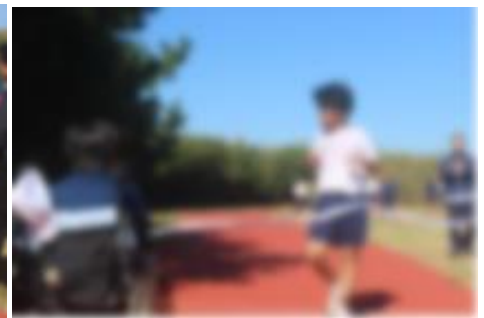


サツマイモの天ぷらを作りました！

国語の勉強中！

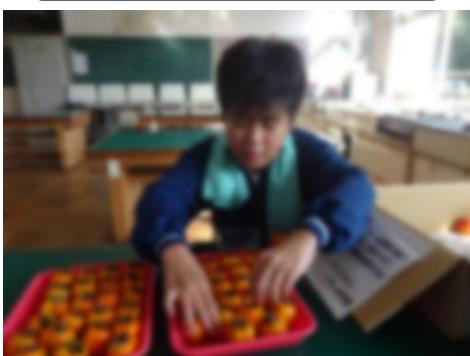


校内マラソン大会 くろしお学級全員参加できました！



渋柿の渋抜きをしました！

階段アート作成中！今年のテーマは「森」です！



校内マラソン大会

1月2日(水)にサンセットパームラインでマラソン大会が開催されました。距離は、男子6.7Km、女子3.9Kmで行われました。今年も天候に恵まれ、大島の自然を感じながらスポーツに親しむことができました。記録としては、男女ともに全体的なタイムの縮まりを感じました。授業や駅伝練習で体力の向上を目指し、本番では最後まで諦めずに走り切ることができていたと思います。一中マラソン大会伝統の「最後まで応援する姿」が今年もみられ、走り終えた生徒がゴールする生徒を励まし、最後まで応援することができていました。

また、スタート前には全校で清掃活動に取り組みました。仲の原園地を中心に清掃を行いサンセットパームライン沿いや長根浜周辺の清掃を行いました。ペットボトルや発泡スチロール、大きなゴミなども回収しました。



【入賞】

	男子記録	女子記録
1位	28' 00	16' 01
2位	28' 11	18' 05
3位	28' 48	18' 23
4位	29' 13	19' 21
5位	29' 54	19' 25
6位	30' 01	19' 31

第 66 回大島町駅伝競走大会

10月30日(日)に大島町駅伝競走大会が開催され、本校からは男子A・Bチーム、女子A・Bチーム、教員チーム(一中爽走)の5チームが出場しました。当日ベストを尽くした選手だけでなく、補欠やマネージャー、グラウンド練習組、吹奏楽部とチーム一中として日々頑張ってきた成果を出し切れた大会となりました。また、女子Aチームは中学生女子の部で優勝し5連覇を達成。東京都駅伝競走大会出場を果たしました。ご声援ありがとうございました。出場した選手たちの感想を紹介します。

【男子Aチーム】

担当	感想
第1区	試走やグラウンド練習で一生懸命走った成果が出せてよかったです。試走の最高記録よりも1分くらい早く走れたのでよかったです。
第2区	最初の試走よりタイムを大幅に縮められたので良かったです。来年も出場できるように頑張ります。
第3区	今回の駅伝は中学校生活最後の駅伝だったけれど、悔いの残らない駅伝になった。自分のタイムは自己ベストには少し届かなかったけれど、最後まで全力で走れてよかった。
第4区	私は4区を走っていたら、前に4区を走っていた先輩がいたので「絶対抜かしてやる」という思いで走りました。最初の上り坂で差が開いたのですが、下り坂でだんだんと差を縮めることができ最後の下り坂で抜かすことができました。タイムは自己ベストを出し、目標タイムも出せました。しかし、体力がまだちょっとだけ残っていたのもっと追い込めたと思うと悔しかったです。来年は絶対に都駅伝に行きたいです。
第5区	駅伝大会では練習よりも良いタイムを出せなかったけれど、次は頑張りたいです。
第6区	自己ベストは更新できませんでしたが、補欠やマネージャーの助けがありその日に出せる力を全て出し切れた気がしました。
補欠	今回は補欠だったけれど、出発するときとかに選手の手伝いとかをして役に立ててよかったです。
補欠	4区の人をサポートを頑張りました。次は選手になりたいです。

【男子Bチーム】

担当	感想
第1区	走っているときめちゃくちゃ辛かったけれど自分の持っているタスキを見て頑張って走り切ろうと思った。
第2区	自分は駅伝に出たくて3000m計測のときや試走、練習のときも諦めずに頑張った。そして、当日は1区の煌河からタスキをもらったときに自分も走るんだなと思って感動した。来年も駅伝に出られるように頑張りたい。
第3区	頑張ったことは最後まで諦めずに走り切ったことです。来年は都駅伝に行けるように頑張ります。
第4区	練習での自己ベストは24分後半だったが、本番では23分前半で走りきることができた。この記録が出せたのは仲間のおかげだと思った。
第5区	6区につなげるために全力で走りました。来年はAチームを目標に頑張りたいです。
第6区	試走のときよりタイムが遅くなっちゃったけれど、楽しく走れた。悔いのないように走れた。また走りたい。

補欠	2区のスタートのときにすぐ応援しました。来年は絶対に選手になりたいです。
補欠	2区の応援までできて、応援のおかげで最後に本気を出し切ることができたと言われたので良かったです。

【女子 A チーム】

担当	感想
第1区	2回目の1区で去年のタイムは更新できなかったけど、上位でタスキを2区に渡すことができうれしかったです。本当にありがとうございました。
第2区	走る前は緊張と不安でいっぱいでした。みんなで襷をつなごうという気持ちが強く、心に響き、最後まで走り襷を繋ぐことができました。
第3区	長距離が苦手で、駅伝とかも最初は出る気にならなかったけどだんだん走っていくうちにちょっと楽しくなれたのでよかったです。
第4区	今年は、体調もすぐれなかったですがみんなで励ましあったり支えてくれたりしたので4区を走り切れて嬉しかったし、みんなに感謝しています。
第5区	初めて駅伝を走って不安なことばかりだったけれど走ってみて気持ちよかったです。
第6区	キャプテンとしてのプレッシャーや自分自身のけがと向き合いながら、みんなの応援のおかげで最後まで諦めずに走りぬくことが出来ました。来年も今年の実験を生かして頑張ってください。
補欠	選手だけが頑張るのではなくて全員で頑張ることができたと思います。本番の選手の走りにはとても感動しました。
補欠	練習の時から、選手も補欠もマネージャーも一丸となって練習に励んでいてよかったです。来年の駅伝も、一中の伝統を受け継いで頑張ってください。

【女子 B チーム】

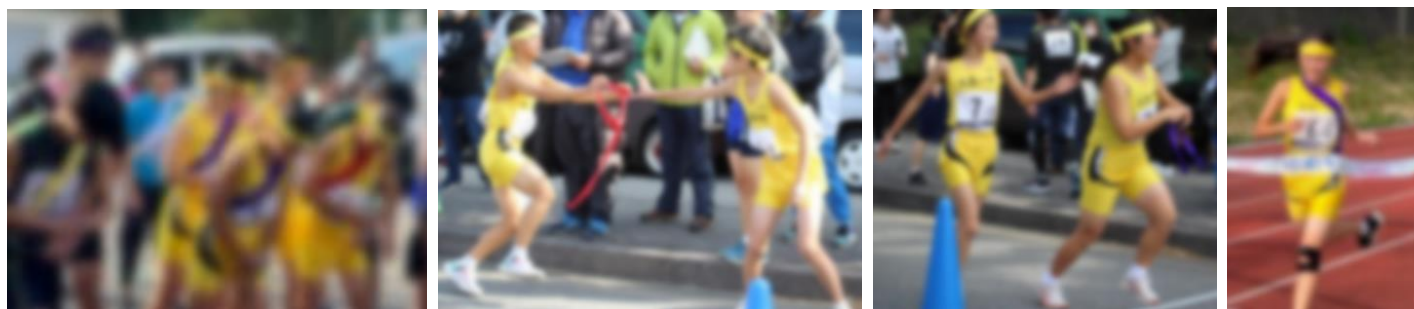
担当	感想
第1区	はじめての一区で、とても緊張しました。あまり試走もしていなかったけど、全力で走ることができ、自己ベストが出たのでよかったです。
第2区	チーム一中として練習を重ね、6区まで紫襷を繋ぐことはできなかったけれど本番でベストを更新でき、自分の中で成長を感じられた駅伝になりました。
第3区	最後の駅伝でプレッシャーや緊張はあったけれど、本番では自己ベストを出すことができ嬉しかったです。「三年間頑張ってよかった。」と思えました。
第4区	迷った末、自ら4区を走ることを希望しました。もちろん不安な気持ちはありましたが仲間や先生からの応援もあり、全力を出し切ることができました。4区を希望して走ったことに後悔はありません。中学校生活最後の駅伝とても良い経験ができました。
第5区	長い距離を1年で初めて走ってみて試走の時よりも本番のほうがタイムが速くなったので頑張って試走から走ったかいがありました。
第6区	中学校最後の駅伝で練習から全力で取り組み当日は不安や緊張はあったけれど一中生一丸となって悔いのない走りのできたので良かったです。
補欠	駅伝大会を通して、選手たちがうまく走っていたりするの後ろでサポートしてくれる人がいるからなんだなということを学びました
補欠	駅伝に出る人と一緒に試走をして、本番走る人のサポートができたからよかったです。

【マネージャー】

マネージャー	練習から選手の姿を見て、支えることができてよかったです。本番で見たみんなの姿は記憶に残るものとなりました。三年生として、最後に皆と本番を迎えることができてうれしかったです。
マネージャー	マネージャーとして選手を支え、応援できてよかったです。 選手、補欠、マネージャーが一丸となって駅伝に臨んでいるのが素敵でした。
マネージャー	選手を支え、最後まで選手の頑張る姿を見られてよかったです。選手も選手じゃない人も一丸となったおかげで、選手が全力で頑張っていたのだと思います。1, 2年生がこの経験を活かし、来年や再来年につなげていってくれたら嬉しいです。
マネージャー	初めてづくしの仕事でしたが、選手のタイムを見て成長を感じたり一緒にアップしたりすることでマネージャー業務に誇りをもつことが出来ました。
マネージャー	始めて駅伝での仕事でしたが、裏で選手をサポートする大切さや一緒に頑張る大切さを知れました。
マネージャー	選手の人たちは全力を尽くしてくれたのだと思います。また、自分もその選手をサポートできたのだと思います。
マネージャー	選手のサポートや応援ができた。来年も選手のサポートができるように頑張ります。

【教員チーム (一^{いち}中^{ちゅう}爽^{そー}走^{らん})】

担当	感想
第1区	「こんな大変な道を走っているのか！」と自分が走ることで実感し、努力する生徒を改めて尊敬しました。生徒と同じ目線で見ることによって日々の指導に新たな発見がありました。何はともあれ、襷をつなげられてよかったです。最高の思い出になりました！
第2区	皆さんと切磋琢磨しながら駅伝練習を頑張れたからこそ、自己ベストを出せ、賞状ももらえました。皆さんのおかげです。ありがとうございました。
第3区	第一中学校には「全力は、美しい・気持ちいい・感動」というパワーワードがあります。今回はそれを実践できた機会でした！！
第4区	1年前、一中生の駅伝に臨む姿に刺激を受け、熱が伝わり、今年はチーム一中の大人がエントリーさせていただきました。4区では男子A・女子A・爽走・男子B・女子Bと生徒チームに挟まれる形でした。全員がベストを更新する激走でした。来年は男女教員3チームとも優勝しましょう！いや保護者チームのエントリーを考えると4チームで！
第5区	来年は23分台で走りたいと思います。そのためにLSDとインターバルを定期的に継続していきます。きっと。
第6区	21年ぶりに同じ職場（最後は一中）で町駅伝大会に参加することができ、また、無事襷をゴールまで運ぶことが出来たことに感無量です。走れる仲間がいて、それをカバーできる今の職員に感謝するとともに生徒ともに走れたこと、また一つ良き思い出ができました。



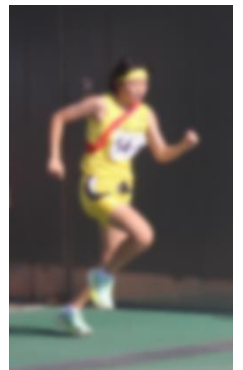
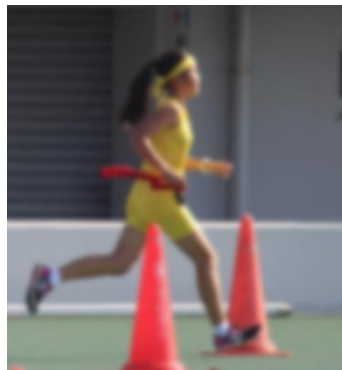
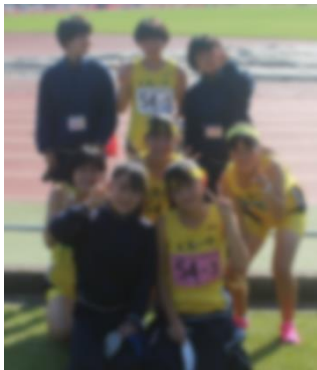


東京都中学校駅伝競走大会

11/12(土)に江東区夢の島で行われた東京都中学校駅伝競走大会に出場しました。大会当日は晴天に恵まれ、生徒たちは大島の代表として素晴らしい走りをしてくれました。都内の陸上部が集まるレベルの高い大会となりましたが、選手たちは大島で積み重ねた練習の成果を発揮し、自己ベストを更新する粘り強い走りで見事な走りをつなぎました。

大会後、選手に話をしましたが、今回の遠征では非常に大きな成果をあげることができました。しかし、現状に満足せず更なる高みを目指していくことが個人、そしてチームを強くしていくことにつながります。チームであと1分縮めることができれば総合で15位に入り、2分縮めれば10位に入ることができます。一人に換算すれば24秒ですが、1年間かけてこの24秒を削り出してほしいと思います。1ヶ月で2秒。1日にすれば0.07秒です。この0.07秒の更新を目指し、地道に努力を重ねていきましょう。そして学校全体で良い雰囲気を作り出し、次年度も学校全体で取り組んでいきたいと思っています。応援していただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。

【結果】 51チーム中 20位 (48分47秒)



12月行事予定

5日(月) 子供を笑顔にするプロジェクト
(HADO スポーツ)
6日(火) 連合音楽会(1・2年)
7日(水) 三者面談(始)
8日(木) くろしお校外学習
14日(水) 2年海洋国際高校訪問
15日(木) 2年移動教室(1日目)
三者面談(終)
16日(金) 2年移動教室(2日目)

17日(土) 2年移動教室(終) 早朝帰島
19日(月) 2年大島高校訪問
20日(火) 小学生への学校説明会
23日(金) 終業式 避難訓練 大掃除

【SC出勤日】 1日(木)、 2日(金)
8日(木)、 9日(金)
15日(木)、16日(金)
21日(水)、22日(木)